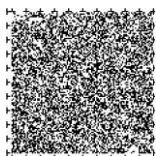


第3章

社会活動などへの参加・参画について



第3章 社会活動などへの参加・参画について

問 15. あなたは現在、自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動などの地域活動に参加していますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「参加している」の割合は 31.2%、「参加していない」の割合は 65.5%となっています。

性別でみると、「参加していない」の割合は、女性が 66.1%、男性が 65.2%となっています。

性・年代別でみると、「参加していない」の割合は、男女ともに 10・20 歳代が 8 割を超えて最も高く、次いで 30 歳代が約 7 割となっています。

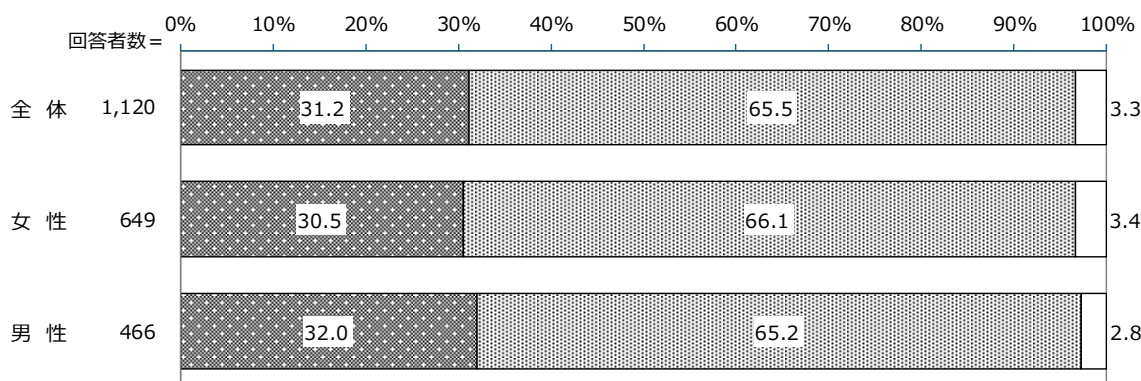
同居家族構成別でみると、「参加していない」の割合は、「単身」が 80.3%、「夫婦・パートナーのみ」が 64.6%、「親・子（2 世代）」が 63.7%、「親・子・孫（3 世代）」が 58.8%となっています。

子の年代別でみると、「参加していない」の割合は、「3 歳未満の乳幼児」が 68.8%と最も高く、次いで「3 歳以上の未就学児」が 59.1%、「大学生・社会人」が 56.6%、「高校生」が 52.8%となっています。

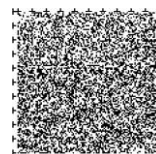
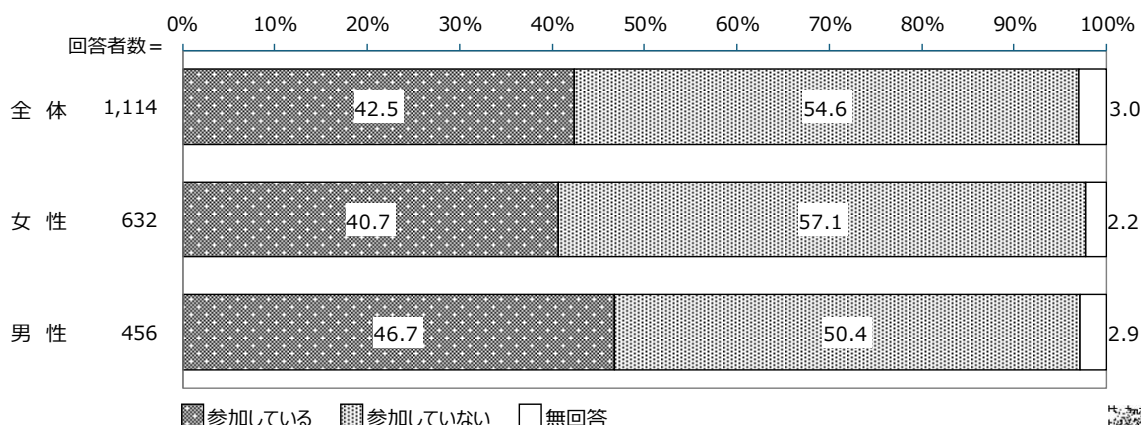
令和元年度調査と比較すると、「参加していない」の割合は、女性では 9.0 ポイント、男性では 14.8 ポイント増加しています。

※性別・性、年代別・同居家族構成別、子の年代別、ブロック別集計…P205

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



問 15 付問 1. 【問 15. で「参加していない」と答えた方におたずねします】

その理由はなんですか。あてはまるものを 3 つまで選び番号に○印をつけてください。

「仕事が忙しくて時間がないから」の割合が 33.5%で最も高く、次いで「活動参加の誘いを受けたことがないから」の割合が 32.3%、「活動の時間が合わないから」の割合が 27.9%、「地域活動に関心がないから」の割合が 27.8%となっています。

性別でみると、女性では「活動参加の誘いを受けたことがないから」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がないから」、「地域活動に関する情報が少ないから（活動内容や参加方法がわからないから）」、「活動の時間が合わないから」、「地域活動に関心がないから」と続いています。男性では、「仕事が忙しくて時間がないから」の割合が 39.1%と最も高く、次いで、「地域活動に関心がないから」、「活動の時間が合わないから」、「活動参加の誘いを受けたことがないから」、「地域活動に関する情報が少ないから（活動内容や参加方法がわからないから）」と続いています。

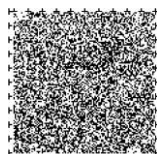
性・年代別でみると、10・20 歳代は、女性では「活動参加の誘いを受けたことがないから」の割合が 42.5%、男性では「仕事が忙しくて時間がないから」の割合が 34.7%と最も高く、男女ともに「地域活動に関心がないから」の割合が 2 番目に高くなっています。30 歳代は、女性では「活動参加の誘いを受けたことがないから」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がないから」の割合が 38.2%となっており、男性では「仕事が忙しくて時間がないから」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「地域活動に関心がないから」の割合が 33.3%となっています。

同居家族構成別でみると、「仕事が忙しくて時間がないから」、「活動の時間が合わないから」、「家事・育児・介護などで忙しくて時間がないから」の時間に起因する項目の割合の合計は、すべての家族構成において 6 割を超えており、特に「親・子（2 世代）」、「親・子・孫（3 世代）」では 7 割後半と高くなっています。一方で、「地域活動に関心がないから」、「地域活動に関する情報が少ないから（活動内容や参加方法がわからないから）」の割合は、「単身」、「夫婦・パートナーのみ」の順で割合が高くなっています。

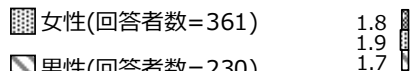
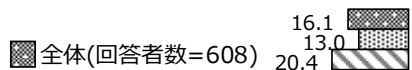
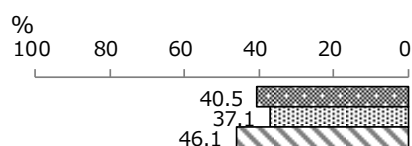
子の年代別でみると、「仕事が忙しくて時間がないから」の割合は、「小学校 1 ～ 3 年生」、「中学生」が 5 割を超えて高く、「家事・育児・介護などで忙しくて時間がないから」の割合は、「中学生」以下の年代で 3 割を超えています。「地域活動に関心がないから」の割合は、「小学校 1 ～ 3 年生」から「中学生」を除く年代で 2 割から 3 割弱となっています。

令和元年度調査と比較すると、選択肢は異なるものの、「地域活動に関心がないから」の割合は、男性では 12.2 ポイント、女性では 7.0 ポイント増加しています。

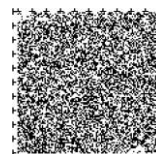
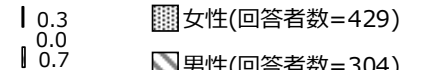
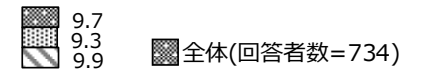
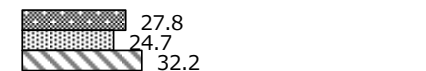
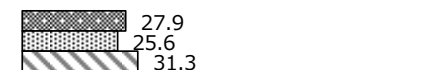
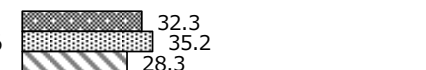
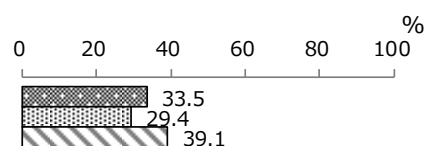
※今回調査にて追加された選択肢：「活動参加の誘いを受けたことがないから」「活動の時間が合わないから」
※性・年代別、同居家族構成別、子の年代別集計…P206



【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（令和6年度調査）】



問 16. 地域活動（自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動など）での男女の役割分担についておたずねします。地域活動の現状について（ア）から（ク）のそれぞれについてあてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

（ア）催し物の企画などは主に男性が決定している

「現状を知らない」の割合が 60.4%、「そうしている」の割合が 15.4%、「そうしていない」の割合が 12.2%となっています。

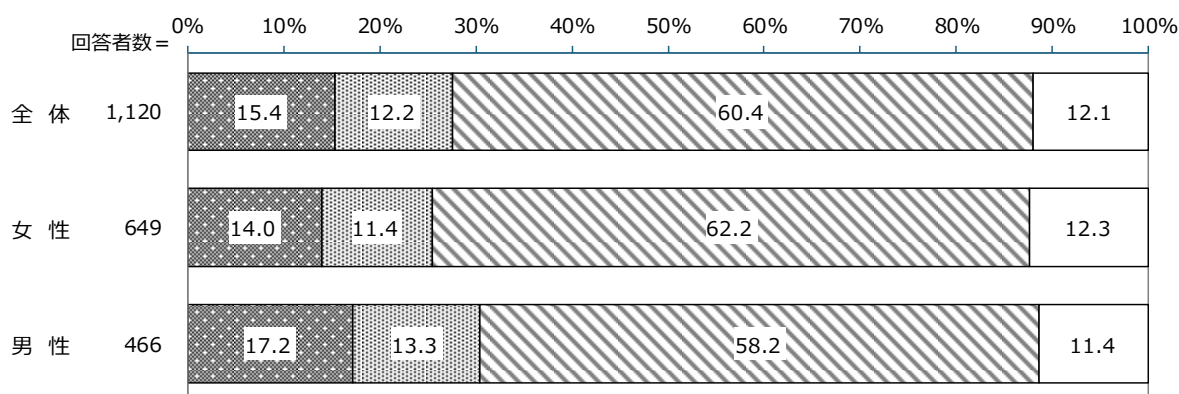
性別でみると、「そうしている」の割合は、女性が 14.0%、男性が 17.2%、「そうしていない」の割合は、男性が 13.3%、女性が 11.4%となっています。また、「現状を知らない」の割合は、女性が 62.2%、男性が 58.2%となっています。

年代別にみると、「そうしている」の割合は、70～74 歳が 30.1%と最も高く、次いで、60～64 歳が 30.0%と大差なく続いています。

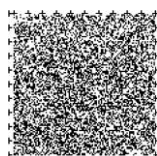
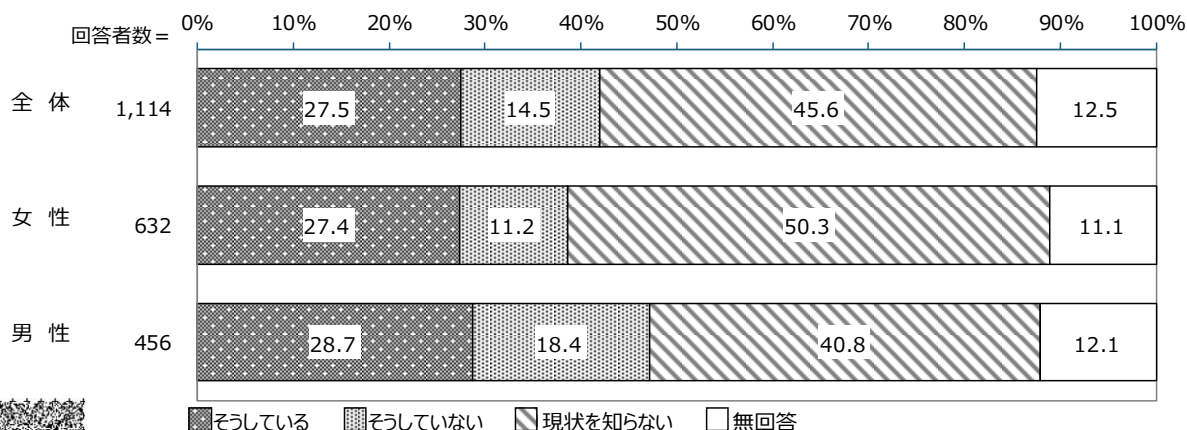
令和元年度調査と比較すると、全体では「現状を知らない」の割合が 14.8 ポイント増加し、「そうしている」の割合が 12.1 ポイント減少しています。

※年代別集計…P207

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(イ) 地域活動は男性が取り仕切る

「現状を知らない」の割合は 54.8%、「そうしている」の割合は 21.3%、「そうしていない」の割合は 11.5%となっています。

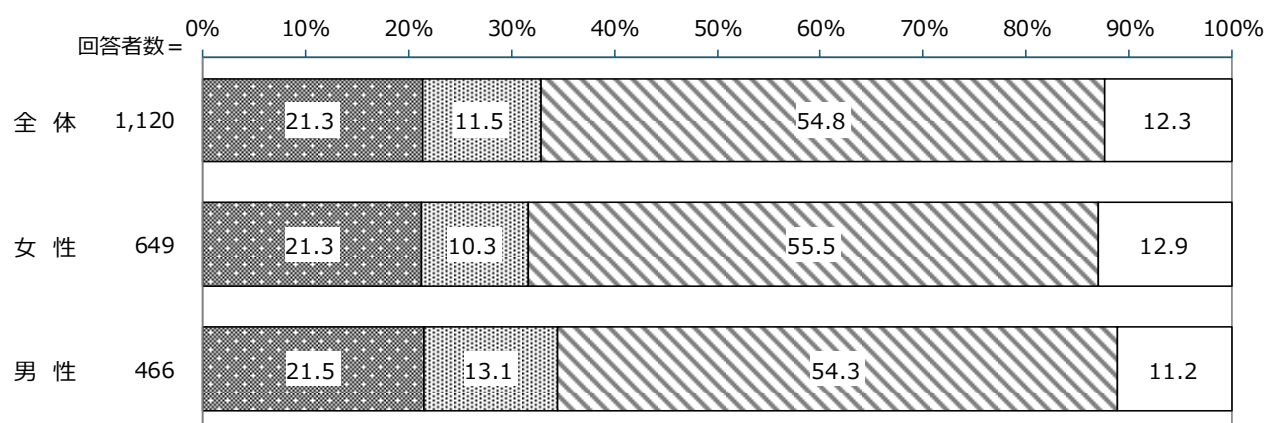
性別でみると、「そうしている」の割合は、男性が 21.5%、女性が 21.3%、「そうしていない」の割合は、男性が 13.1%、女性が 10.3%となっています。また、「現状を知らない」の割合は、女性が 55.5%、男性が 54.3%となっています。

年代別にみると、「そうしている」の割合は、70～74 歳が 35.5%と最も高く、次いで、60～64 歳が 32.5%となっています。

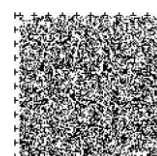
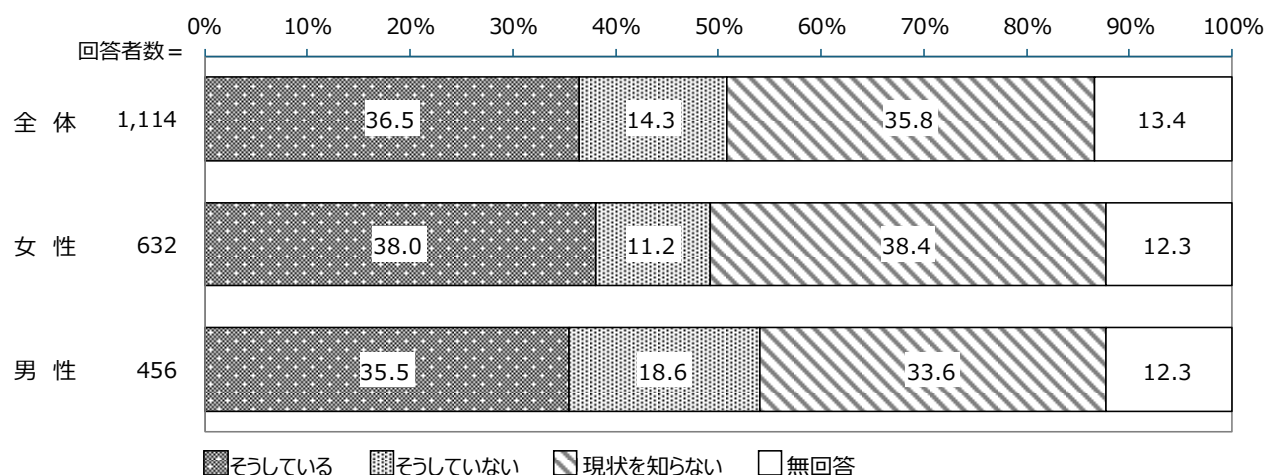
令和元年度調査と比較すると、全体では「現状を知らない」の割合が 19.0 ポイント増加し、「そうしている」の割合が 15.2 ポイント減少しています。

※年代別集計…P208

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている

「現状を知らない」の割合は 52.4%、「そうしている」の割合は 21.8%、「そうしていない」の割合は 13.2%となっています。

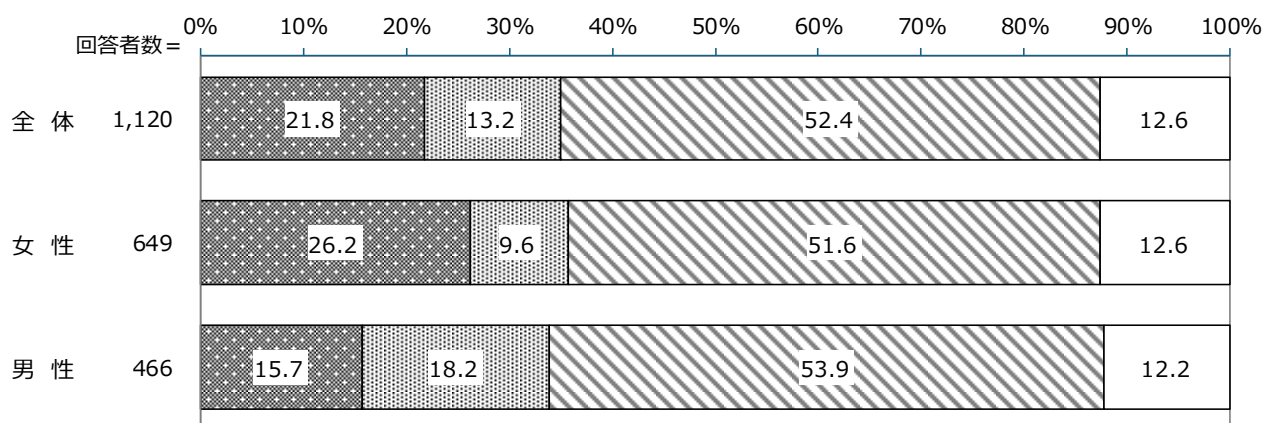
性別でみると、「そうしている」の割合は、女性が 26.2%、男性が 15.7%、「そうしていない」の割合は、男性が 18.2%、女性が 9.6%となっています。また、「現状を知らない」の割合は、女性が 51.6%、男性が 53.9%となっています。

年代別にみると、「そうしている」の割合は、70～74 歳が 31.2%と最も高く、次いで、50 歳代が 29.5%となっています。

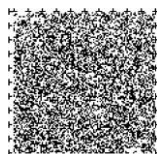
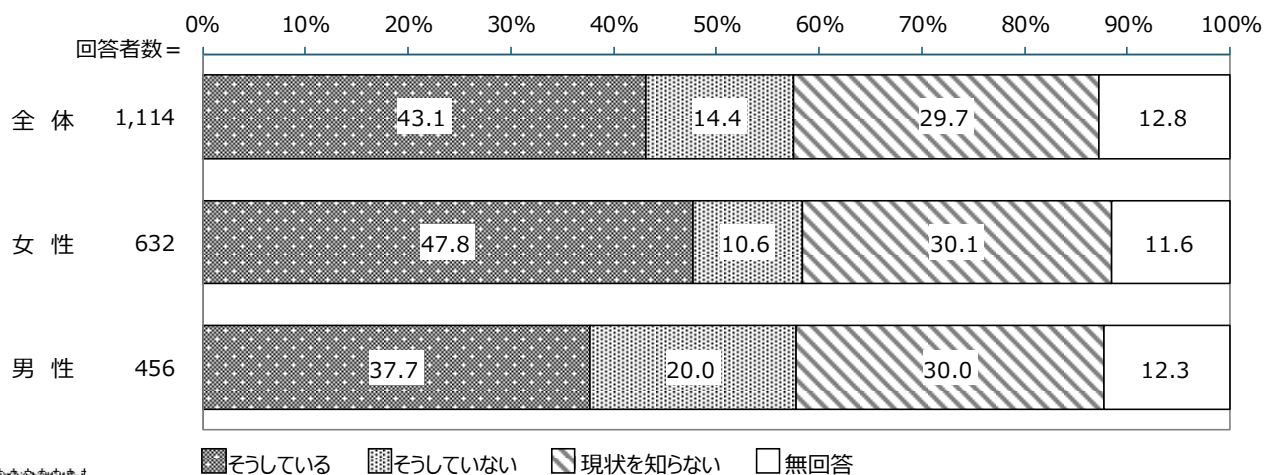
令和元年度調査と比較すると、全体では「現状を知らない」の割合が 22.7 ポイント増加し、「そうしている」の割合が 21.3 ポイント減少しています。

※年代別集計…P209

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている

「現状を知らない」の割合は 50.9%、「そうしている」の割合は 21.8%、「そうしていない」の割合は 15.3%となっています。

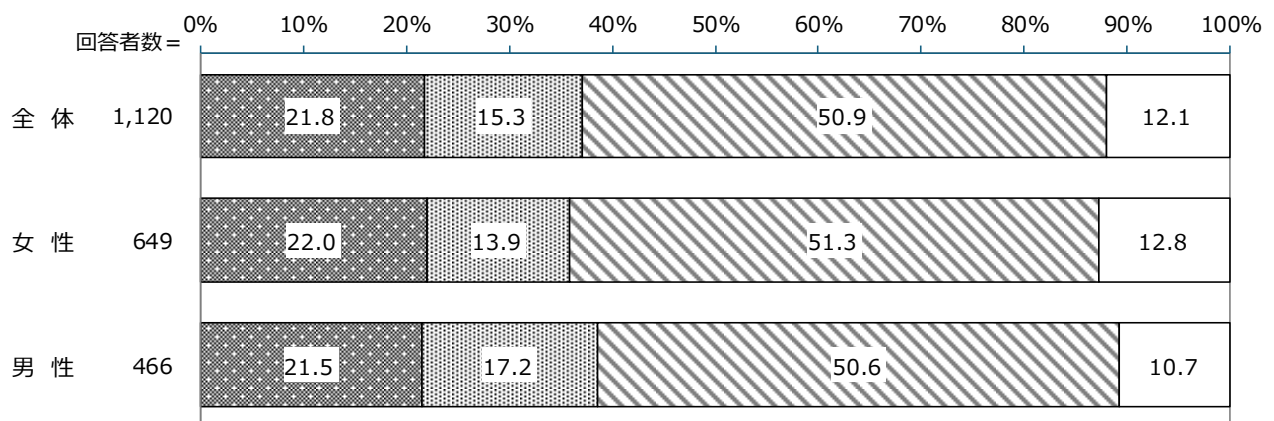
性別でみると、「そうしている」の割合は、女性が 22.0%、男性が 21.5%、「そうしていない」の割合は、男性が 17.2%、女性が 13.9%となっています。また、「現状を知らない」の割合は、女性が 51.3%、男性が 50.6%となっています。

年代別にみると、「そうしている」の割合は、70～74 歳が 33.3%と最も高く、次いで、75 歳以上が 32.2%となっています。

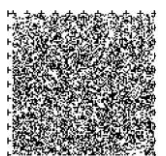
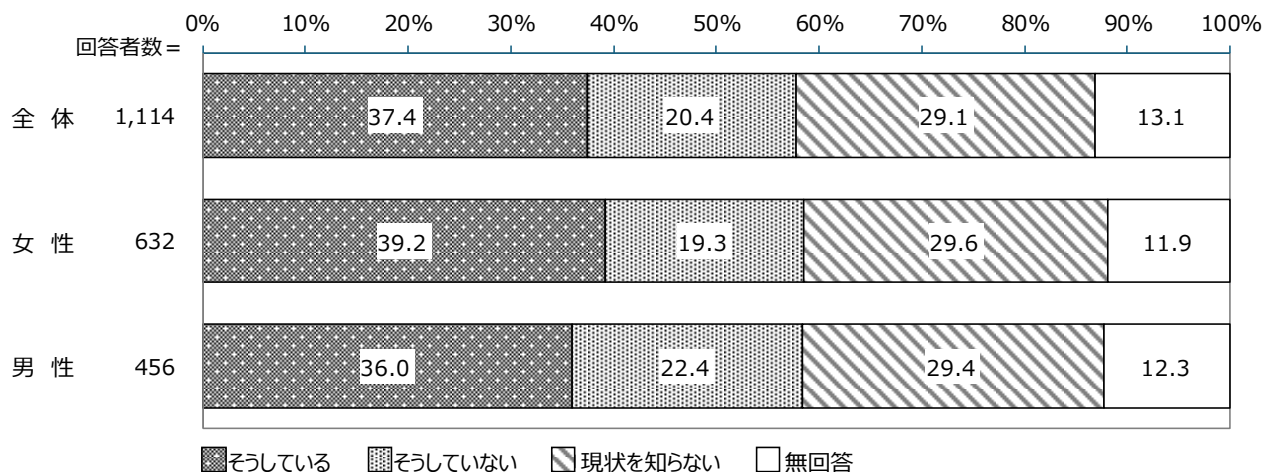
令和元年度調査と比較すると、全体では「現状を知らない」の割合が 21.8 ポイント増加し、「そうしている」の割合が 15.6 ポイント減少しています。

※年代別集計…P210

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(オ) 地域での集会では男性が上座に座る

「現状を知らない」の割合は 57.0%、「そうしていない」の割合は 16.6%、「そうしている」の割合は 13.6%となっています。

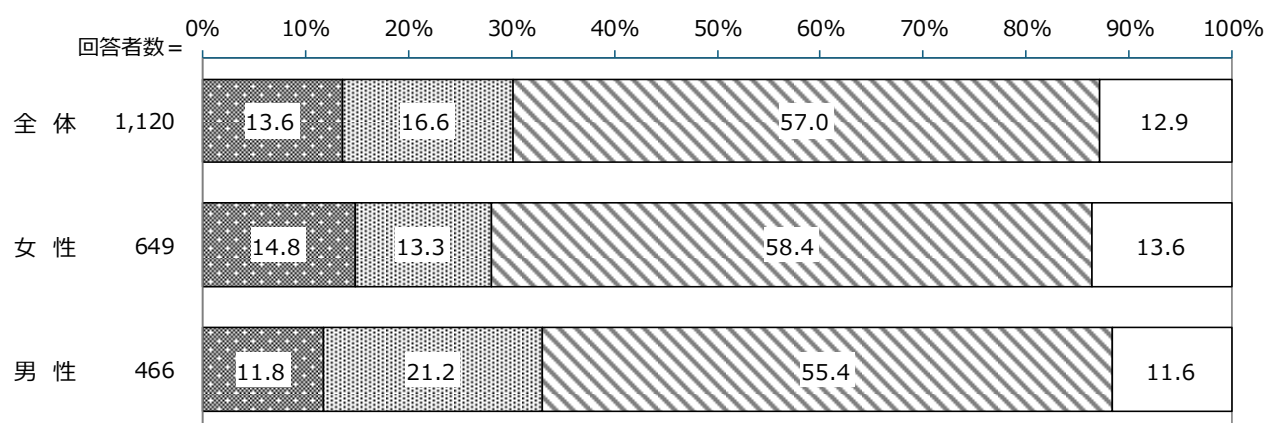
性別でみると、「そうしている」の割合は、女性が 14.8%、男性が 11.8%、「そうしていない」の割合は、男性が 21.2%、女性が 13.3%となっています。また、「現状を知らない」の割合は、女性が 58.4%、男性が 55.4%となっています。

年代別にみると、「そうしている」の割合は、75 歳以上が 25.3%と最も高く、次いで、70～74 歳が 23.7%となっています。

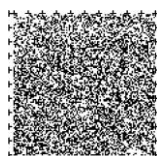
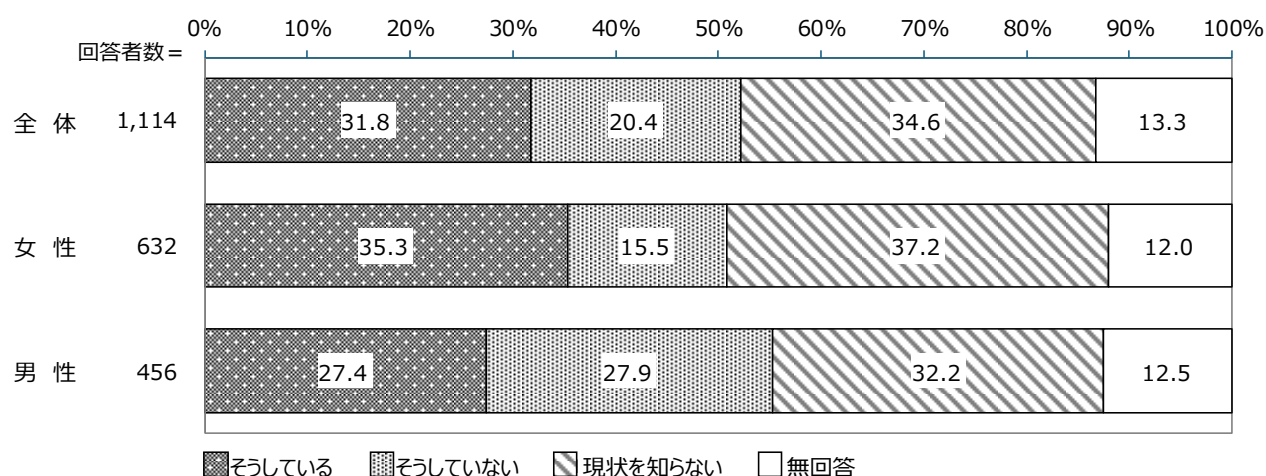
令和元年度調査と比較すると、全体では「現状を知らない」の割合が 22.4 ポイント増加し、「そうしている」の割合が 18.2 ポイント減少しています。

※年代別集計…P211

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(カ) 女性の発言が少ない

「現状を知らない」の割合は 56.2%、「そうしていない」の割合は 19.8%、「そうしている」の割合は 11.0%となっています。

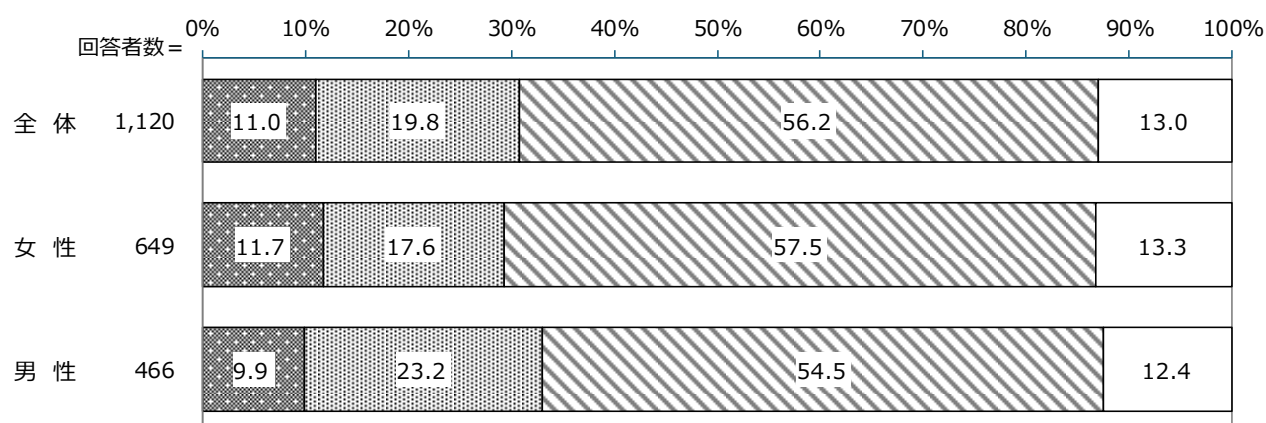
性別でみると、「そうしている」の割合は、女性が 11.7%、男性が 9.9%、「そうしていない」の割合は、男性が 23.2%、女性が 17.6%となっています。また、「現状を知らない」の割合は、女性が 57.5%、男性が 54.5%となっています。

年代別にみると、「そうしている」の割合は、75 歳以上が 18.4%と最も高く、次いで、60～64 歳が 17.5%となっています。

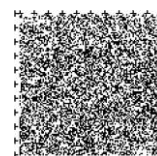
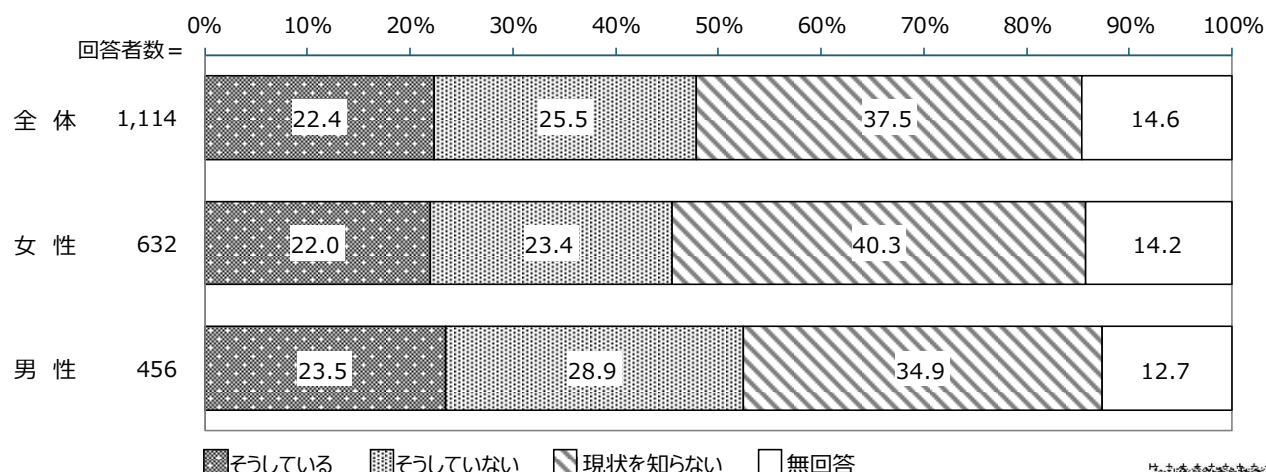
令和元年度調査と比較すると、全体では「現状を知らない」の割合が 18.7 ポイント増加し、「そうしている」の割合が 11.4 ポイント減少しています。

※年代別集計…P212

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い

「現状を知らない」の割合は 53.7%、「そうしていない」の割合は 17.9%、「そうしている」の割合は 16.2%となっています。

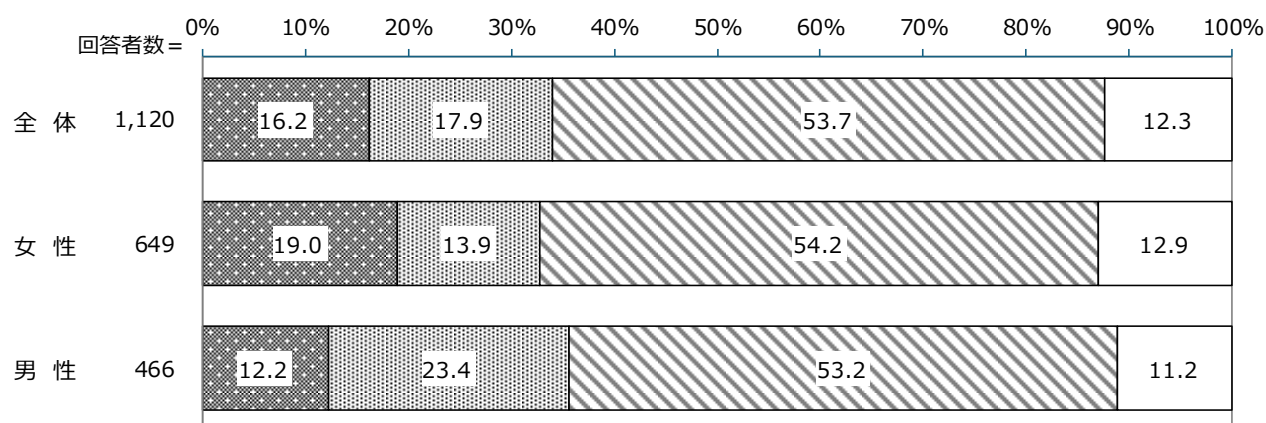
性別でみると、「そうしている」の割合は、女性が 19.0%、男性が 12.2%、「そうしていない」の割合は、男性が 23.4%、女性が 13.9%となっています。また、「現状を知らない」の割合は、女性が 54.2%、男性が 53.2%となっています。

年代別にみると、「そうしている」の割合は、75 歳以上が 27.6%と最も高く、次いで、70～74 歳が 26.9%となっています。

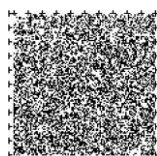
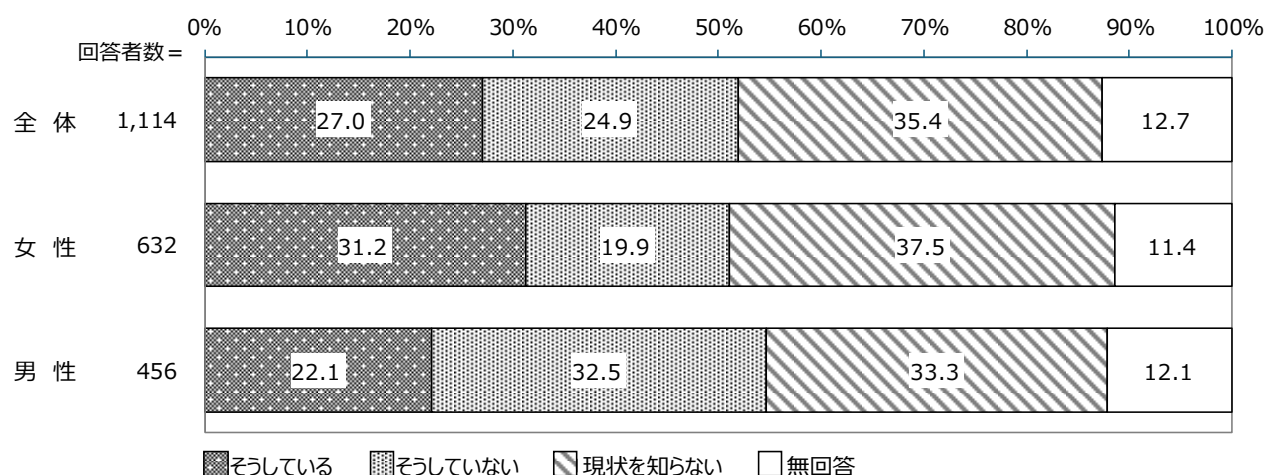
令和元年度調査と比較すると、全体では「現状を知らない」の割合が 18.3 ポイント増加し、「そうしている」の割合が 10.8 ポイント減少しています。

※年代別集計…P213

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金がある

「現状を知らない」の割合は 57.8 %、「そうしていない」の割合は 27.1%、「そうしている」の割合は 2.6%となっています。

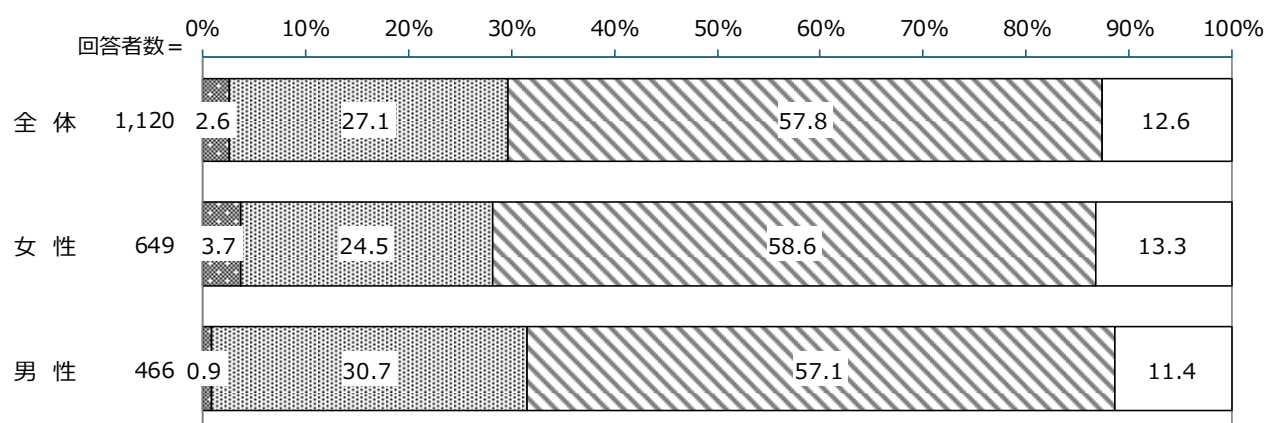
性別でみると、「そうしている」の割合は、女性が 3.7%、男性が 0.9%、「そうしていない」の割合は、男性が 30.7%、女性が 24.5%となっています。また、「現状を知らない」の割合は、女性が 58.6%、男性が 57.1%となっています。

年代別にみると、「そうしている」の割合は、70～74 歳が 4.3%と最も高く、次いで、65～69 歳が 4.1%となっています。

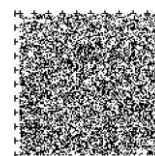
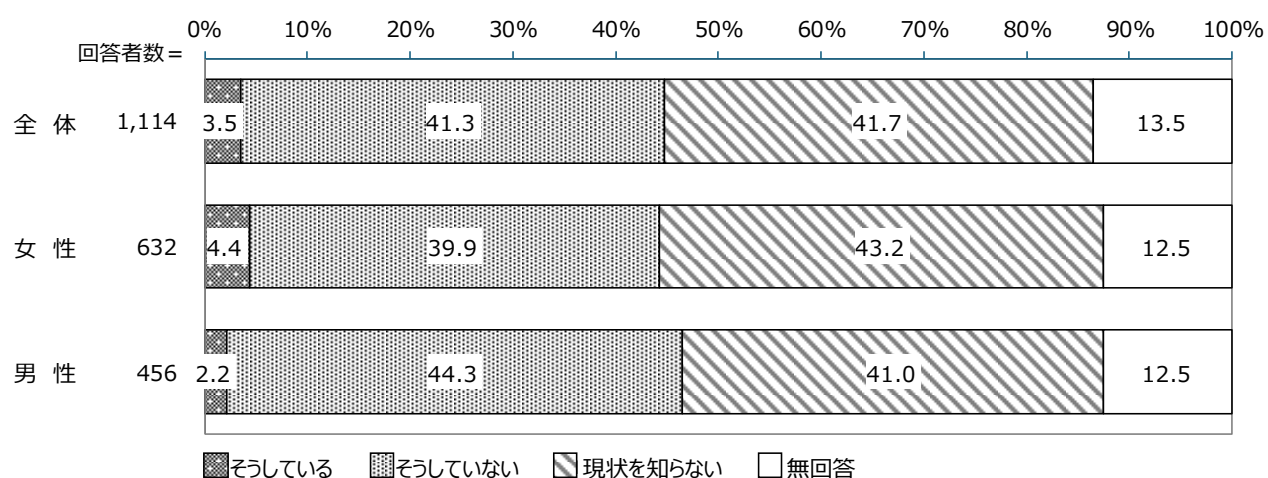
令和元年度調査と比較すると、全体では「現状を知らない」の割合が 16.1 ポイント増加し、「そうしている」の割合が 0.9 ポイント減少しています。

※年代別集計…P214

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



問 16 付問 1. 【問 16. で「そうしている」と回答した方におたずねします】

**今後はどうすべきだと思いますか。（ア）から（ク）のそれぞれについてあてはまるものを
1 つずつ選び○印をつけてください。**

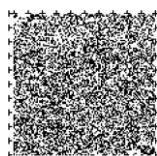
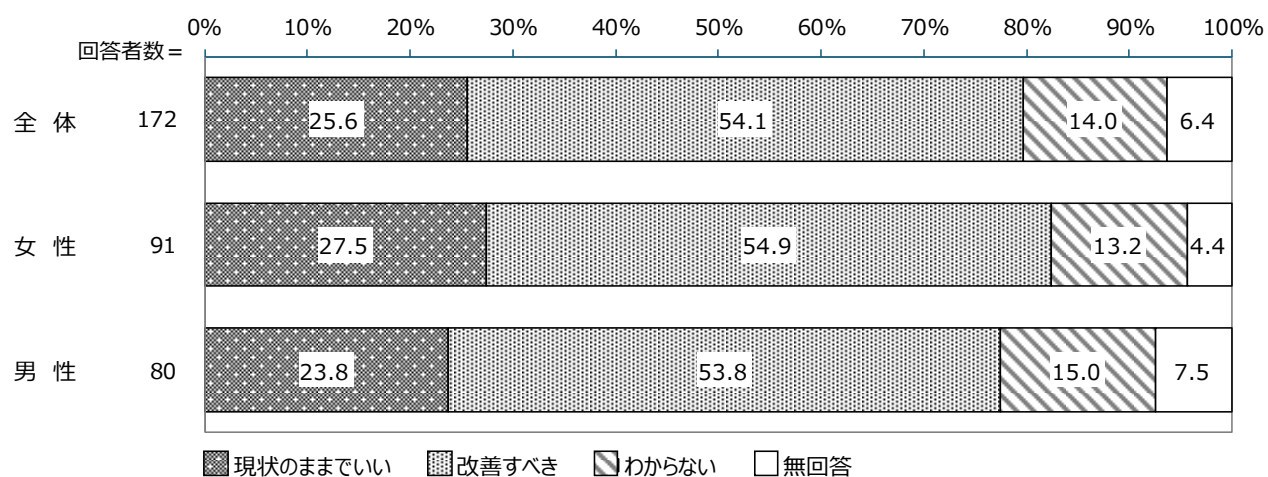
（ア）催し物の企画などは主に男性が決定している

「改善すべき」の割合が 54.1%、「現状のままでいい」の割合が 25.6%となっています。

性別でみると、「改善すべき」の割合は、女性が 54.9%、男性が 53.8%、「現状のままでいい」の割合は、女性が 27.5%、男性が 23.8%となっています。

性・年代別でみると、「改善すべき」の割合は、女性の 40 歳代、10・20 歳代、男性の 70 歳代で 7 割を超えています。

※性・年代別集計…P215



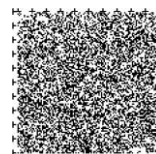
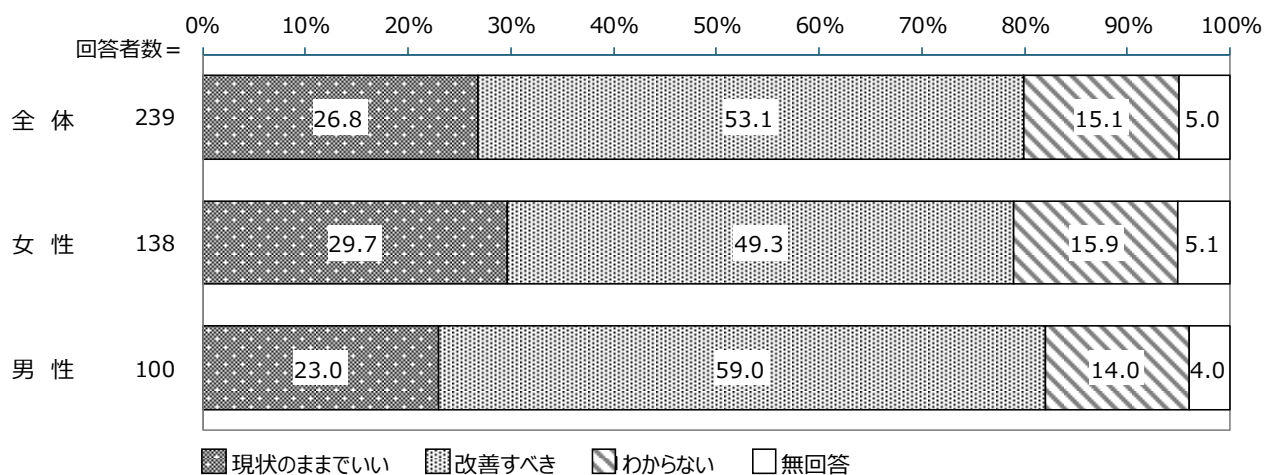
(イ) 地域活動は男性が取り仕切る

「改善すべき」の割合が 53.1%、「現状のままでいい」の割合が 26.8%となっています。

性別でみると、「改善すべき」の割合は、男性が 59.0%、女性が 49.3%、「現状のままでいい」の割合は、女性が 29.7%、男性が 23.0%となっています。

性・年代別でみると、女性では「現状のままでいい」の割合が 40 歳代、10・20 歳代を除いて 3 割を超えており、男性では「改善すべき」の割合が 30 歳代を除いて 5 割を超えています。

※性・年代別集計…P215



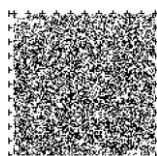
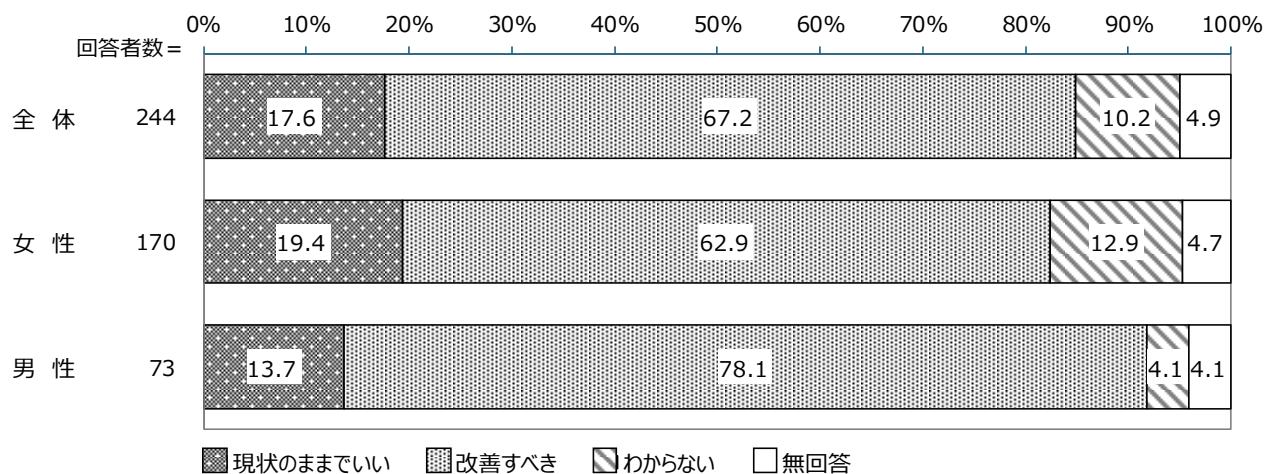
(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている

「改善すべき」の割合が 53.1%、「現状のままでいい」の割合が 17.6%となっています。

性別でみると、「改善すべき」の割合は、男性が 78.1%、女性が 62.9%、「現状のままでいい」の割合は、女性が 19.4%、男性が 13.7%となっています。

性・年代別でみると、「改善すべき」の割合は、女性の 70 歳代が 38.7%と最も高く、次いで、女性の 60 歳代が 21.1%、女性の 50 歳代が 16.7%、女性の 40 歳代が 15.6%となっています。「改善すべき」の割合は、男性ではすべての年代で 6 割を超えています。

※性・年代別集計…P216



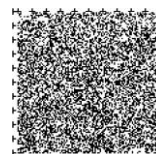
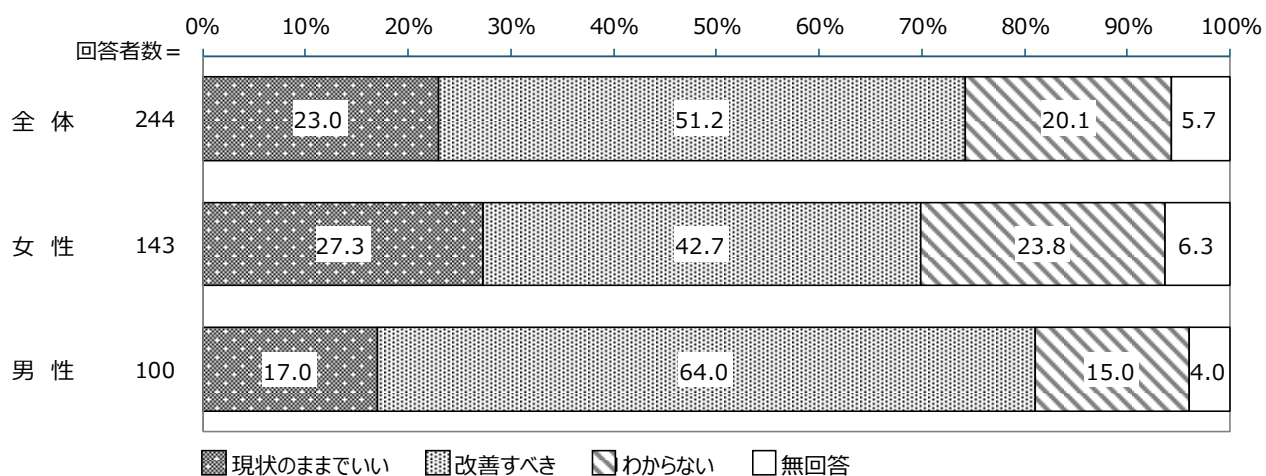
(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている

「改善すべき」の割合が 51.2%、「現状のままでいい」の割合が 23.0%となっています。

性別でみると、「改善すべき」の割合は、男性が 64.0%、女性が 42.7%、「現状のままでいい」の割合は、女性が 27.3%、男性が 17.0%となっています。

性・年代別でみると、「改善すべき」の割合は男性ではすべての年代で 5 割を超えており、女性では 50 歳代以下の年代で 4 割を超えています。「現状のままでいい」の割合は女性の 60 歳代が 44.0%と最も高くなっています。

※性・年代別集計…P216



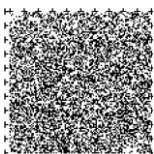
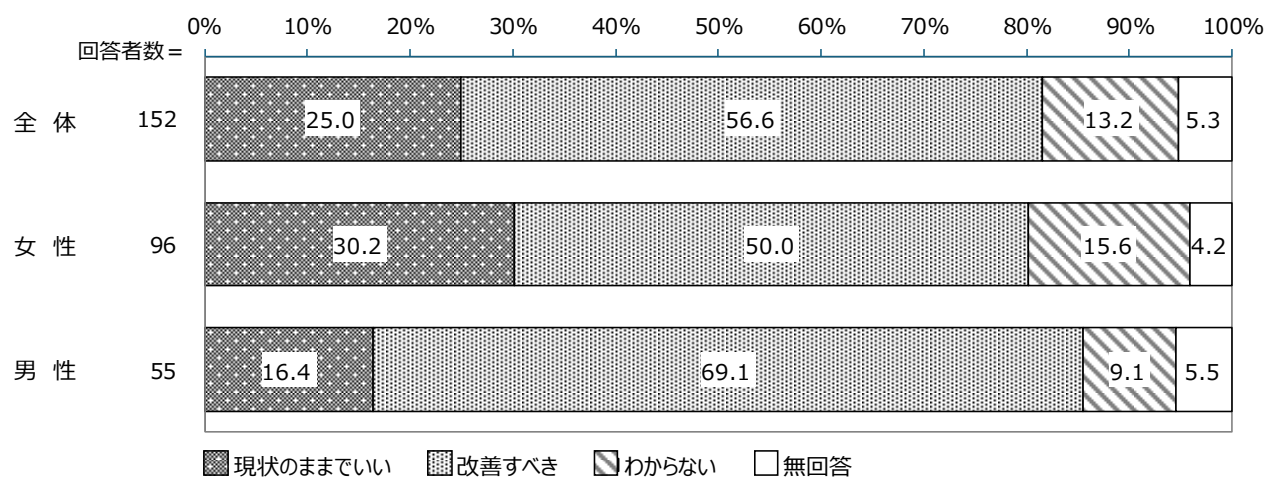
（オ）地域での集会では男性が上座に座る

「改善すべき」の割合が 56.6%、「現状のままでいい」の割合が 25.0%となっています。

性別でみると、「改善すべき」の割合は、男性が 69.1%、女性が 50.0%、「現状のままでいい」の割合は、女性が 30.2%、男性が 16.4%となっています。

性・年代別でみると、女性の 60 歳代以上では「現状のままでいい」の割合が 5 割を超え、男性の 60 歳代以上では「改善すべき」の割合が 6 割を超えています。

※性・年代別集計…P217



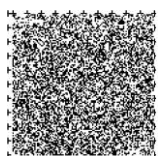
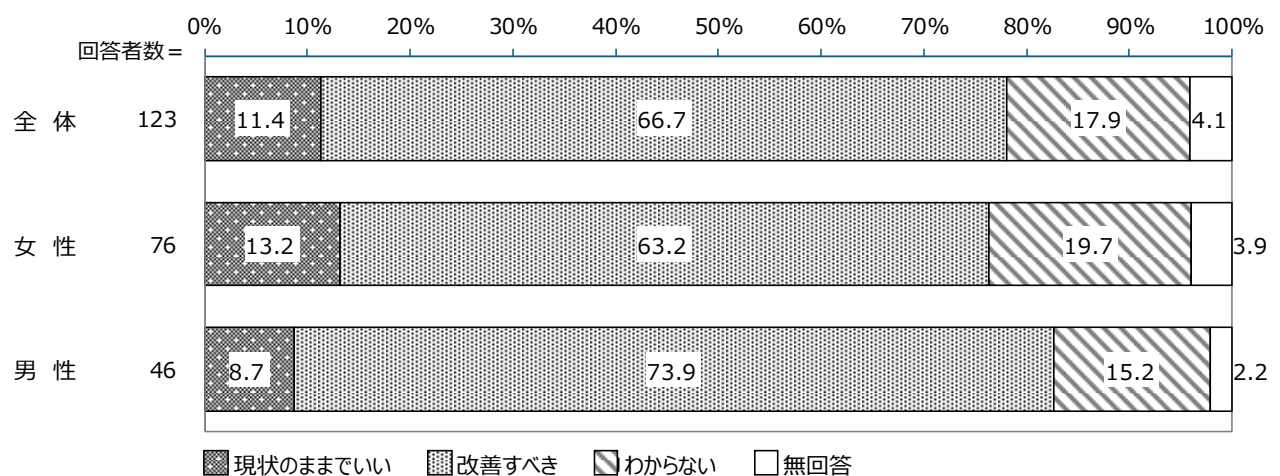
(カ) 女性の発言が少ない

「改善すべき」の割合が 66.7%、「現状のままでいい」の割合が 11.4%となっています。

性別でみると、「改善すべき」の割合は、男性が 73.9%、女性が 63.2%、「現状のままでいい」の割合は、女性が 13.2%、男性が 8.7%となっています。

性・年代別でみると、「改善すべき」の割合は男性では 10・20 歳代を除くすべての年代、女性では 30 歳代、60 歳代を除くすべての年代で 6 割を超えています。

※性・年代別集計…P217



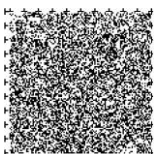
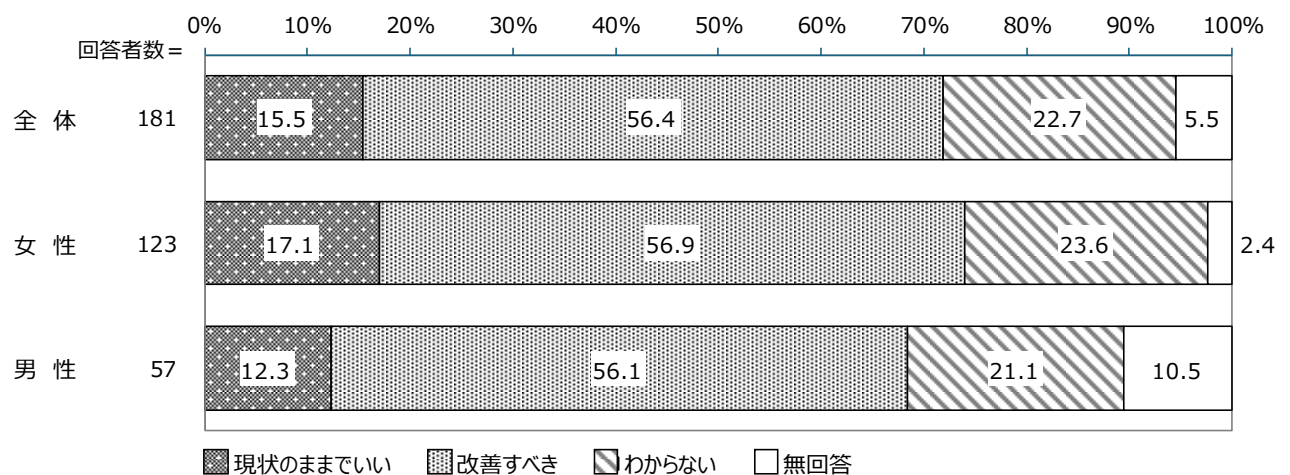
(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い

「改善すべき」の割合が 56.4%、「現状のままでいい」の割合が 15.5%となっています。

性別でみると、「改善すべき」の割合は、女性が 56.9%、男性が 56.1%、「現状のままでいい」の割合は、女性が 17.1%、男性が 12.3%となっています。

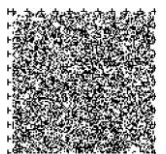
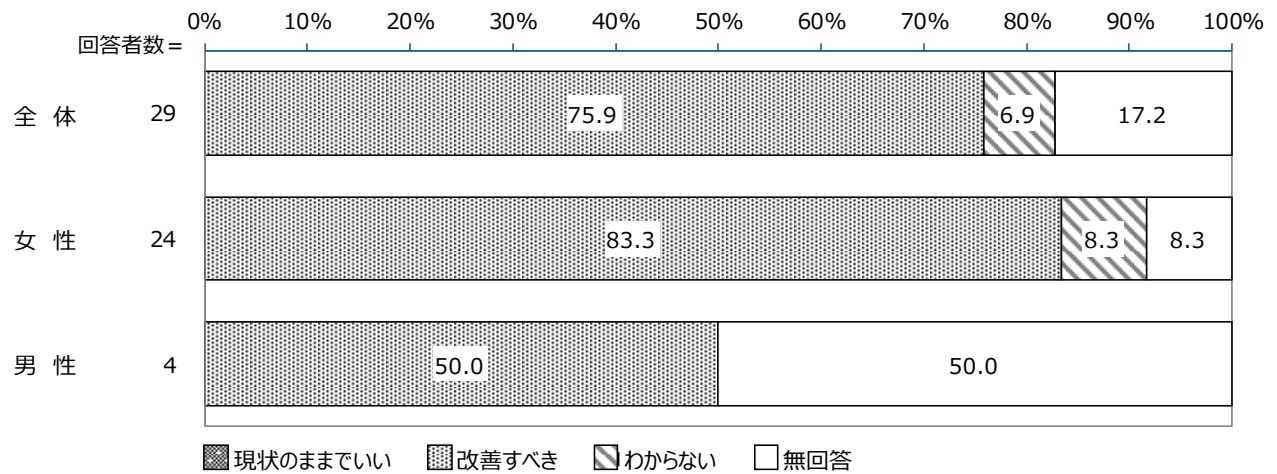
性・年代別でみると、男女とも「改善すべき」の割合は 60 歳代が最も高くなっています。

※性・年代別集計…P218



(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金がある

「改善すべき」の割合が 75.9%、「わからない」の割合が 6.9%、「現状のままでいい」の割合が 0.0%となっています。



問 17. 自治会長や校区コミュニティ組織の会長、PTA会長などの地域の役職について、
女性の方は、もし、あなた自身が推薦されたら引き受けますか。
男性の方は、妻などの身近な女性が推薦されたとしたら引き受けることをすすめますか。
あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「断る（断ることをすすめる）」の割合が74.7%、「引き受ける（引き受けることをすすめる）」の割合が18.9%となっています。

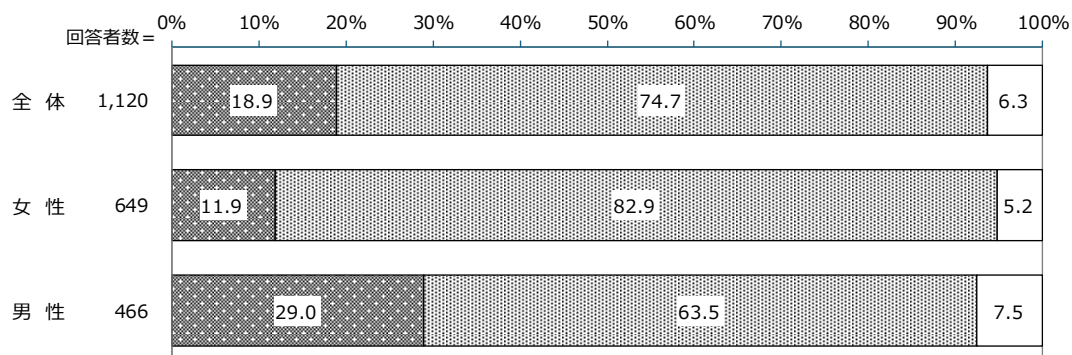
性別でみると、女性では「断る（断ることをすすめる）」の割合が82.9%、「引き受ける（引き受けることをすすめる）」の割合が11.9%となっており、男性では「断る（断ることをすすめる）」の割合が63.5%、「引き受ける（引き受けることをすすめる）」の割合が29.0%となっています。

性・年代別でみると、「断る（断ることをすすめる）」の割合は、女性ではすべての年代で7割を超えており、40歳代が89.6%、30歳代が89.0%と、約9割となっています。男性では、30歳代が74.6%と最も高く、次いで、40歳代が72.8%となっています。

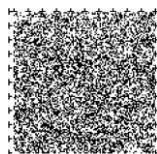
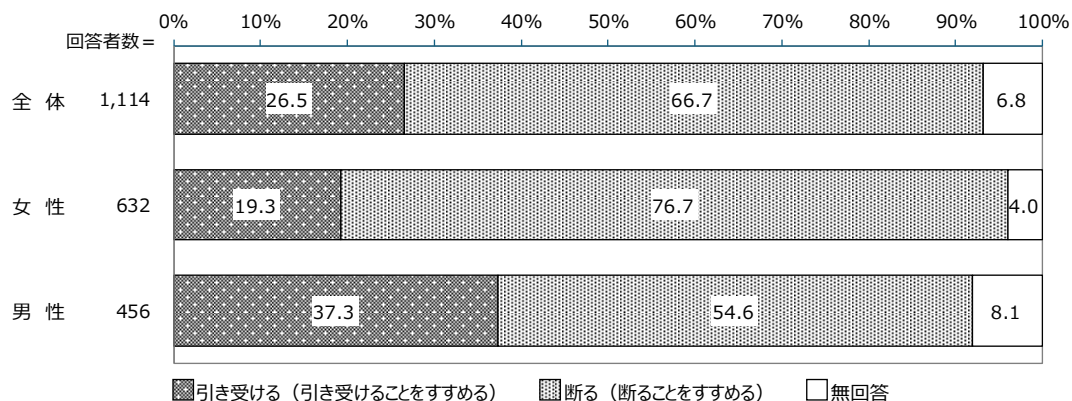
令和元年度調査と比較すると、女性では「断る（断ることをすすめる）」の割合が6.2ポイント増加、「引き受ける（引き受けることをすすめる）」の割合が7.4ポイント減少しています。男性では、「断る（断ることをすすめる）」の割合は8.9ポイント増加、「引き受ける（引き受けることをすすめる）」の割合が8.3ポイント減少しています。

※性・年代別集計…P219

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



問 17 付問 1. 【問 17 で 2. 「断る（断ることをすすめる）」と答えた方におたずねします】

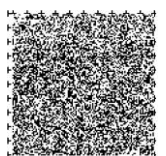
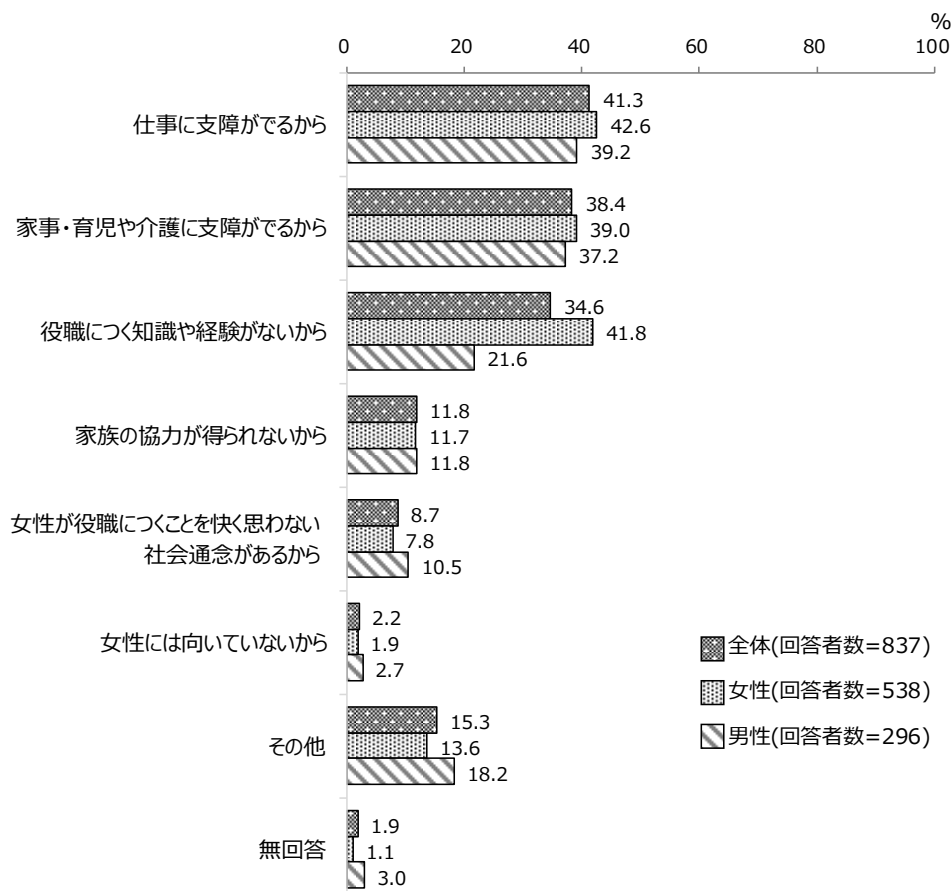
その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

「仕事に支障がでるから」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「家事・育児や介護に支障がでるから」の割合が 38.4%、「役職につく知識や経験がないから」の割合が 34.6%となっています。

性別でみると、女性では「仕事に支障がでるから」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「役職につく知識や経験がないから」41.8%、「家事・育児や介護に支障がでるから」が 39.0%となっています。男性では「仕事に支障がでるから」の割合が 39.2%、「家事・育児や介護に支障がでるから」の割合が 37.2%、「役職につく知識や経験がないから」の割合が 21.6%となっています。

性・年代別でみると、女性では「仕事に支障がでるから」の割合は、30 歳代が 56.7%と最も高く、次いで 40 歳代が 54.7%となっています。「役職につく知識や経験がないから」の割合は、70 歳代が 54.7%と最も高く、次いで 50 歳代が 50.0%となっています。また、「家事・育児や介護に支障がでるから」の割合は、30 歳代が 72.2%と最も高く、次いで 40 歳代が 51.6%となっています。男性では、「仕事に支障がでるから」の割合は、30 歳代が 50.0%と最も高く、次いで 40 歳代が 47.8%となっています。「家事・育児や介護に支障がでるから」の割合は 30 歳代が 52.3%と最も高く、次いで 40 歳代が 49.3%となっています。また、「役職につく知識や経験がないから」の割合は、70 歳代が 40.4%と最も高く、次いで 60 歳代が 35.3%となっています。

※性別・性、年代別集計…P220



問 18. あなたは、地域活動における女性リーダーを増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。
あなたのお考えに最も近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

「育児や介護を支援するための施策を充実させる」の割合が35.3%で最も高く、次いで「さまざまな立場の人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する」の割合が34.9%、「家族が家事・育児を分担する」の割合が33.8%となっています。

性別でみると、女性では「育児や介護を支援するための施策を充実させる」の割合が40.2%と最も高く、次いで「さまざまな立場の人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する」の割合が36.8%、「家族が家事・育児を分担する」の割合が35.6%となっています。男性では「さまざまな立場の人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する」の割合が32.6%、「家族が家事・育児を分担する」の割合が31.5%、「男性中心の社会通念や慣習を改めるための啓発活動を実施する」の割合が30.9%となっています。

性・年代別でみると、「育児や介護を支援するための施策を充実させる」の割合は女性の30歳代が6割を超え最も高く、次いで10・20歳代が47.8%、男性の30歳代が44.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、全体では「家族が家事・育児を分担する」の割合が9.5ポイント増加し、「さまざまな立場の人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する」の割合が15.6ポイント減少しています。また、女性では「育児や介護を支援するための施策を充実させる」の割合が2.5ポイント増加し、男性では「男性中心の社会通念や慣習を改めるための啓発活動を実施する」の割合が5.0ポイント増加しています。

※性別・性、年代別集計…P221

